

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「心にとりのあるその人らしい生活を送れることを第一に考えます趣味や特技を生かし役割や楽しみのある生活を支援し意欲の向上に努めます」と独自の理念を掲げている 「地域の中での」は今の所入れてない	○	「地域の中でその人らしい生活」等を組み入れた理念を徐々に考えていきたい
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はホーム中央の壁に大きく書かれ掲示し、職員は理念を意識した実践が出来るよう更衣室にも貼り確認している		
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	入所時や運営推進会議等で話している		
2. 地域との支えあい				
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の人と挨拶を交わし、遊びに立ち寄っていただけるよう声掛け誘っています 自治会には参加していないので行事等は不明で参加していない	○	経営者と話し合い、地元との交流が出来るよう検討していきたい
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会等の地域活動には参加していない	○	地域活動に参加できるように、地元の方がたとの交流を計れるように検討していきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	声掛け、誘い等はしているが実際、事業所内に入っては来てはもらえない	○	周辺地域の高齢者の状況を詳しく把握したうえで取り組んでいきたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員会議や運営推進会議で討議して改善できる所は取り組む 前回の評価の食事摂取量記録は改善済み	○	評価を受け止め改善に努めるよう取り組んでいる
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度は5回開催しホームの状況、利用者の状態等を報告し話し合った	○	意見やアドバイスを受け入れてケアサービスに活かしている
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議や介護相談員の来所時に相談している		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現時点では必要な利用者はいないが制度の理解はしている		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待が行われていないか職員間で注意を払い防止に努めている今迄に虐待はない		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>見学に来所して頂き、入所に関する内容等の書類にそって説明し十分に理解・納得を得られるようにしているホームの雰囲気も感じ取ってもらっている</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議やケアプランを渡す際に聞く事になっているが、意見、苦情、不満等はなかなかでない、日常のさりげない会話から聞きだし反映させている</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>個々には面会時に生活の様子や健康の状態を伝え必要時には電話での連絡をとっている 職員の移動、行事案内については運営推進会議議事録として全員に送付し報告している</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情箱は玄関に設置している面会時や運営推進会議等にも意見、不満、苦情等を何でも気軽に話して頂けるよう心掛けている</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>会議や勤務内で意見や提案を出し反映するようにしている</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>入居者の状態や生活の流れを支援できるよう勤務調整に努めている</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者のダメージを最小限に抑えるよう離職の説明に配慮している</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>各種の研修を通して介護者としての能力を高める 更に介護福祉士やケアマネージャーの資格取得に向け努力する</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会や県の研修に順次参加している</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>ストレスが強い仕事であるので、時々皆で集まり自分の意見や他人の考えを聞く‘場’を設けるようにしている</p>	<p>○ 休日を定期的に設けるように工夫することに努力している</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>各職員が病院への通院介助を通して利用者の信頼を得ている、利用者積極的に向かい合っている</p>	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入所前には本人と必ず面談し、意向を伺い不安が少なく利用となるように努力している</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>施設見学から、入所に至るまでは十分に時間をかけ納得したうえで利用決定とし不安を解消し、要望を聴き受けとめる努力をしている</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要な支援 こちらが可能な支援と合致した上での利用とし、不可能な場合は他の施設を検討して頂いている		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人のペースを優先し、場の雰囲気や職員・他の利用者徐徐に馴染む様子を見ながら安心出来るよう声掛けをしたり工夫している		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩として尊敬の念を持って接し、お互いに支え合い共に時を過ごしている		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話で近況報告、受診時の報告をし相談もしている 本人を家族・職員共に支えていく関係を築いている		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	いつでも面会に来て頂けるような雰囲気としている 行事(夏祭り、敬老会、忘年会)に参加して頂き一緒にゲームを楽しんで頂きよりよい関係作りに向けて支援している		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族・知人はいつも気軽に来所出来るよう家族を通して声掛けをして頂いている		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の相性も配慮し、座席の位置を工夫したり、会話しやすいよう声掛けで接点作りをしている 洗濯物たたみ・新聞たたみ等楽しく一緒に行っている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院となり退所した利用者には見舞いに行ったり、家族との連絡でその後の経過を把握している		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活の中で利用者同士や職員との会話の中より感じとった事、行動の様子より推測した事より把握している		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に家族より伺ったり、前利用機関よりのサマリーにより把握に努めている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	就寝中の見守り、起床時～就寝時・食事量・バイタル測定・排泄量のチェックをしている。ただし介助を要しない利用者の排泄量はチェックしていない		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	主治医より受診時の状態で指導頂いたこと、サービス担当者会議での意見・家族・本人の意向・要望を検討し作成している		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間終了時に見直しを行っている又それに限らず、状態変化時には関係者と相談し見直しをし作成している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録・日勤簿・夜勤簿・受診記録に日々の様子を詳しく記録しており申し送りで情報を共有しそれに活かしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	受診時に送迎同行をしている 受診の帰りに買物の要望があれば買物に応じたり、家族に代わって必要物品の購入にも応ずる		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	出張美容師・介護相談員の来所が定期的にある 退職された職員がボランティアとして来所されることもある		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他の施設のケアマネジャーとの情報交換をしている		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している		○	地域包括支援センターとの協働をし相談・アドバイスを頂きたい 特に利用者の栄養面について栄養士と相談したい
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族の希望を取り入れてかかりつけ医を選定し要望があれば受診時に同行して頂いている 受診時には日頃の施設での様子体調を報告バイタルチェック表を提示し医療との連携に努めている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>脳神経外科・内科・精神科・歯科・皮膚科の医師を確保している・どの医療機関も信頼出来るDr・Nsである</p>	
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>職員の中に看護の有資格者がおり健康状態や医療活用の相談をしアドバイスを得ている</p>	
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院中は病院へ出向き状態を病院スタッフに伺っている 早期退院にむけて退院後利用者が安心して再び施設利用出来るように情報収集をしている しかし、個人情報保護法により家族以外に情報を流そうとせず不便を感じる</p>	
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入所時、家族面会時、ケアプランの説明には重度化した場合について、家族の要望を聞くようにしている 基本的には、主治医の病院、入院施設のない医院は主治医の紹介の病院との意向である</p>	
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>当事業所では重度化、終末期の利用者への対応は不可能と判断し取り組んでいない</p>	<p>○ 現段階での対応は困難であり利用者及び家族がそれを要望するのであれば今後検討したい</p>
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>家族及び本人に関わる関係者と十分に話し合いをし、情報交換を行い、リロケーションダメージを最小限にするよう配慮したい</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の意思を尊重し、常に声かけをして確認し対応している ケース記録記入時、イニシャルを使い来所者の目にふれぬようにしている 個人情報の取扱いに注意している ケース記録は来所者に眼にふれぬよう事務所内に置いている	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	常日頃、コミュニケーションをとるよう心かけ、その人に合わせた説明の仕方や話し方で意思の疎通を確認出来るようにしている	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	それぞれのペースに合わせた介助と対応を行っている 余暇やレクリエーション等も変化をつけそれぞれの希望を取れいれてそれにそって支援をしている	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	髪カットは2ヶ月に1度のペースで出張美容師の来所により、本人の望む髪型、長さを確認したうえでやっている	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養バランスを考え、旬の食材を多く取り入れ昔から利用者が馴染みのある様な献立作りをしている 食後の片付けで食器拭きなどを一緒に行ったりしている	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	利用者の誕生日に本人の好みを聞きそれにそってメニューを考えている 飲み物はその時の状況や好みに合わせて提供している 麦茶・紅茶・野菜ジュース・牛乳・スポーツドリンク等	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	トイレ誘導は利用者に合った排泄のタイミングを見て行い、パットのチェックをしたりその人に合わせた介助を心かけ失禁の減少に努めている		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回の入浴でそれぞれゆっくり時間をとりリラックスしてもらうよう対応している 入浴順・湯の温度等も本人の希望に合わせて楽しんで頂けるよう配慮している		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	就寝時間も個人の意向を尊重し対応している 夜間は安眠できるように照明や騒音に気を配っている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個性を大切に、その人に合った役割や出番を作り、意欲の向上に努めている バズル・カラオケで唄う 食器拭き・洗濯物たたみ等		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人の希望によりお金を管理しているひともいるが、個人のお金は預っておらず必要な物を購入した時は利用料の請求時に一緒にしている		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ドライブ・お花見(梅・桜・菊・コスモス等)近隣への散歩、外気欲と戸外で過ごす機会を設けている		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族には冠婚葬祭やお墓参りに外出の機会を、買い物時職員に同行しスーパーへ行ったりしている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の申し出により電話を利用出来るように取り計っている 又年賀状は職員が用意し利用者の自筆により各々の家族に出している		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族・友人・知人がいつでも気軽に来所出来るような雰囲気作りをしつつろいで頂けるよう配慮している		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	独歩で転倒の危険のある利用者に対しては車椅子に拘束帯を使用しているがあらかじめ主治医の指導・家族の了解のもと行っている認識は充分出来ている		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	坂道と見通しの悪い道路に面し危険である為。鍵を掛けざるをえない	○	外出・散歩を多くすることにより鍵をかけていることの弊害を少なくする
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中ほとんどの利用者はフロアで過ごす事が多く居室に戻っている利用者に対しても時々声掛けをしている 夜勤者はPM8・11・AM6と巡回をしている フロアでは職員が常に見守っている		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ハサミ・裁縫道具は利用者の申し出により渡し使用して頂いている 注意をする物品(包丁・薬品等)については保管場所・管理方法を決め職員間で周知徹底している		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	救急講習については近隣の消防署協力のもとスタッフ全員が講習を受けており緊急時に対応出来るよう備えている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	対応マニュアルは事務所と夜勤室に資料としてあるが、一昨年に普通救命講習を職員全員で受講した	○	確認のため再度役立つような学習の機会を設けたい
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練は年2回実地、火災発生時の119番通報の手順・連絡網等も作成済み 消火器・懐中電灯等も備品として用意済み 防災ビデオ鑑賞し利用者、職員で話し合いを持った		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	リスクについては家族とよく話し合い納得・安心が得られるように支援を行っており、利用者各人の状態に合った対応策を家族に伝えている		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝バイタルチェック表による健康管理をしケース記録等にも残しかかりつけ医との連携を図っている		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員が管理し、飲み違いのないように日付・氏名を確認した上で服用している 職員は服薬の目的副作用については処方説明書より理解し支援を行っている		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	チェック表にて確認し水分補給を十分にしオリゴ糖を利用したり、腹部マッサージをしたり工夫している		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後歯磨き、うがい等自立の人には声掛け促し、困難の人には介助にて施行している 夜間は義歯を預り週数回の洗浄も行っている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、10時3時のお茶の時間の水分補給もチェックしている食事量を主食、副食に分け記入している 体重は月1回測定している		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	毎年インフルエンザ予防接種を受けている うがい手洗いはペーパータオルを使用し衛生安全管理に努めている 食前、おやつ前には速乾性の手指消毒剤も使用している		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板、包丁・布巾等は使用后消毒し 食器・歯ブラシ等は週1回の消毒をし衛生管理に努めている 食材は週4回の配達食品と生協の購入で冷蔵庫内の整理は常に心かけている 又ゴミ処理も衛生面には注意をはらっている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関脇やフェンスに花のプランターを設置し花を絶やさぬように工夫し、明るい雰囲気づくりに取り組んでいる		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日中ほとんどホールにいたることが多いがコタツやソファで自由に過ごしている 外出時の写真・壁飾り・歌詞等を貼り時々楽しみ 季節の花々を飾りのんびりと季節感を感じながら心地良く暮らしていけるよう工夫している		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや畳、コタツにて気の合った利用者同士雑談したりテレビを観たりし、それぞれに自由に過ごせる様居場所を確保してある		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れたタンスや衣裳ケース、装飾品等一人一人の生活必需品を持ち込まれその人らしい居室になっている 壁には写真・カレンダー等本人の好みのものを飾り心地良く過ごせる様工夫している		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	朝の清掃時に窓を開け換気を行っている エアコンの室温調節も居室・フローアとの温度差ができないよう気を配っている 冬には加湿器による湿度調節にも気を配っている		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	フローア、コタツ、浴室、トイレに手すりを設置 入浴時には必要に応じて入浴ボードも使用している 毎日レクリエーションの時間に体操 手遊び・セラバンド等取入れ身体機能低下への対応に努めている		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各居室には目線に合わせたネームプレートを取れつけている 時計も目につきやすい場所に設置している		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	プランターや庭に季節に合わせた花を植えたり、天気の良い日にはレクリエーションの時間に散歩をして日光浴を楽しんでいる		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度
		<input type="radio"/>	③たまに
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
		<input type="radio"/>	②少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	③あまり増えていない
		<input type="radio"/>	④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

毎日のレクリエーションの時間にはラジオ体操から始め運動やゲーム・手遊び・習字・歌等を通して、残存機能や機能低下の防止に努めています